



建設だより

市民病院整備事業 地域版 第15号 2014・10

工期を延長します

市民病院整備事業について、これまでの新棟の建築工事に遅れが出ているため、工期を6か月延長することとしました。これにより、新棟完成は平成28年3月になり、グランドオープンが平成30年度になる予定です。

工事が遅れた主な理由は、杭工事において、過去の工事のものと思われるコンクリートの塊などの地中障害物が発見され、これらを除去する工事に時間を要しました。また、解体工事において、外来診療のない土曜日に限定したことなどにより、遅れが生じました。

皆様には工事期間が延長し、御不便、御迷惑をおかけしますが、御理解、御協力をお願いします。

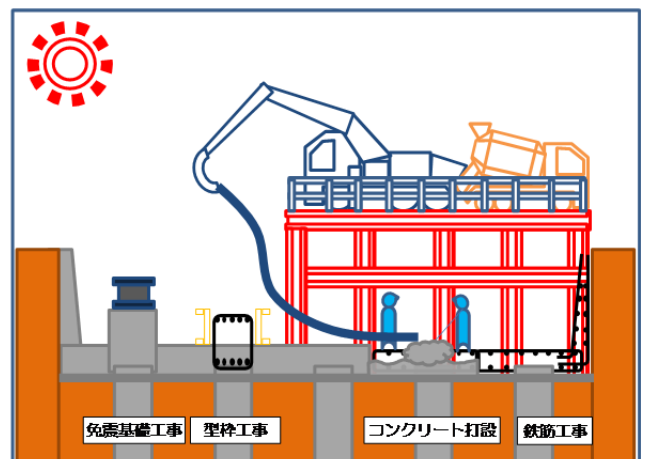
【今後のスケジュール】（予定）
平成27年度 新棟完成（H28.3）
平成28年度 新棟供用開始
北棟改修
平成29～30年度
南棟解体
旧看護師宿舎解体
外構工事他
新病院全体供用開始
（H30 グランドオープン）

基礎工事を行っています

現在の工事は土工事が終わり、建物の基礎工事を行っています。鉄筋配筋工事→型枠工事→コンクリート打設と進めていき、建物と基礎の間に地震対策のための免震装置（次ページ参照）を設置します。

免震装置は、地震の揺れをある程度吸収する役割を果たすため、診療時間中でも、地震の揺れによる影響をおさえる効果が期待できます。

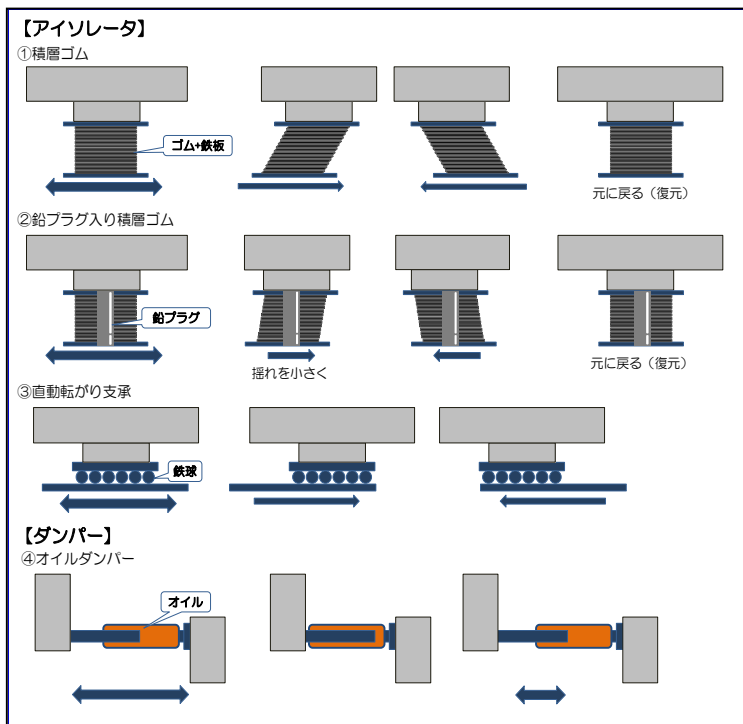
なお、10月下旬から11月上旬には、工事用の資機材を吊り上げるためのタワークレーンを2機設置する予定です。



【基礎工事イメージ図】

免震装置について

新棟の免震装置は「アイソレータ」、「ダンパー」で構成され、「アイソレータ」は、ゴムや鉛などでできていて、激しい揺れを長い周期の揺れに変える役割を持っています。「ダンパー」は、オイルの特性を利用して揺れを吸収し、止める役割を持っています。



※図1の4種類の装置を、
図2のように配置して、
地震の激しい揺れをおさえる
建物としています。

【新棟範囲】



図1 【免震装置(4種類)が揺れて元に戻る様子を示したもの】

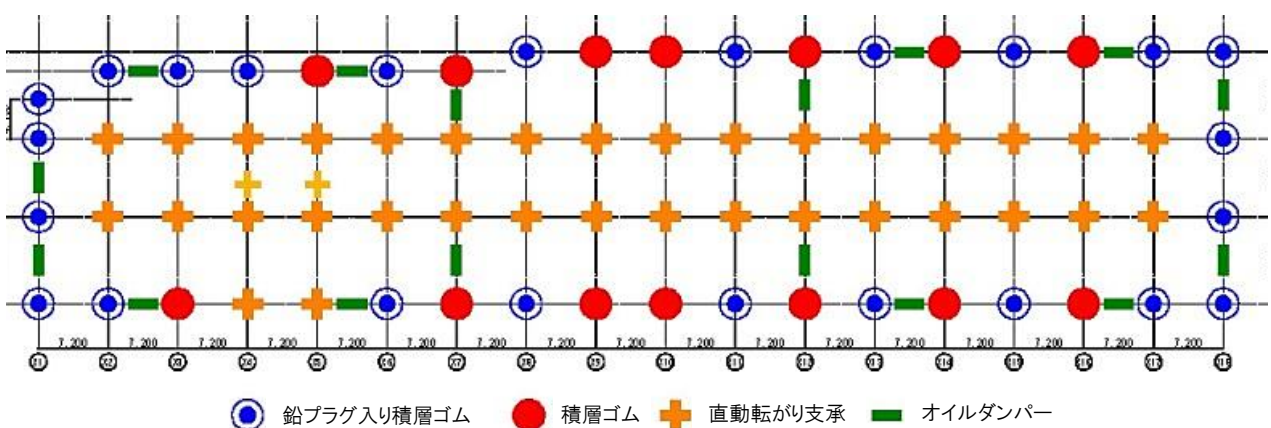


図2 【免震装置の配置】